

当院の腎不全治療

腎不全治療のうち、当院では血液透析を主とし、機会がある方には腎移植を行う体制をとっています。

現在までに維持透析療法を行わずに腎移植をする先行的腎移植は89例中11例行いました。腎移植を行う際に危険が高いと考えられる高リスク症例は血液型不適合移植22例、2次腎移植5例、3次腎移植1例、術前既存抗体陽性腎移植3例を行いました。血液型不適合移植の場合は、通常の免疫抑制剤に加えてリツキサン投与とDFPP(二重ろ過血漿交換療法)を行っています。血液型適合移植は89例中44例、血液型不一致移植は89例中24例、血液型不適合移植は89例中22例行いました。

ドナー手術結果は89例中解放腎摘出術1例、残り88例は鏡視下腎摘術を行いました。平均手術時間150分、特に大きな合併症はありませんでした。

腎移植後の成績は1年生着率98.9%、5年生着率89.3%、10年生着率79.8%でした。

腎提供者の存在が不可欠という制約がありますが、腎移植術は最良の腎不全治療であるため、今後も安全性と治療成績を向上させつつ、さらなる普及を目指してまいります。

※H16~27年の間



IMSグループからのお知らせ

医療・介護のことでお悩みはありませんか？

IMSグループイムス総合サービスセンターが、みなさまからの医療・介護のご相談をお受けいたします。詳しくはホームページをご覧ください。

来訪もしくは、お電話かホームページ[メールフォーム]よりお問い合わせください。

FREE 0800-800-1632 (イムスに)
 ※「050」からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。 受付時間/平日8:30~17:30 土曜日8:30~12:30(日祝・年末年始休み)
03-3989-1141 (代表)

イムス総合サービスセンターのサービス内容や、IMSグループの最新情報をご覧ください。

<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-21-11 オーク池袋ビルディング8F

板橋中央総合病院 地域広報誌
 PLAZA IMS(プラザ イムス) Vol.45 冬号
 発行:板橋中央総合病院 地域医療連携室
 発行日:2016年11月

IMS(イムス)グループ 医療法人社団 明徳会
板橋中央総合病院
 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-12-7
 TEL.03(3967)1181

— 理念 —
**安全で最適な医療を提供し、
 「愛し愛される病院」として社会に貢献する。**

— 基本方針 —

1. 急性期病院として1人でも多くの患者さまのニーズに応えるために全力を尽くす。
2. 他の組織や施設と密接に連携してシームレスな医療を構築し、地域のニーズに応える。
3. 接遇マナーとコミュニケーション能力を備えた職員を尊重し、かつ育成する。



「プラザ イムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。



腎臓の役割と
血液透析から腎移植まで

P L O F I L E

名前:川瀬友則

診療科:腎臓外科

役職:診療部長

専門分野:腎不全の外科治療

資格:日本外科学会認定医・専門医

日本透析医学会認定医・専門医・指導医

日本臨床腎移植学会腎移植認定医

東京都身体障害者福祉法指定医

(中面をご覧ください)

腎臓の役割と血液透析から腎移植まで



腎臓の役割ってなあに・・・?

腎臓は腰より上の背中側に、左右に1つずつ計2つある人の握りこぶし大の臓器です。

- 血液中の老廃物を尿として排出
- 血圧の調節
- 電解質を調節
- 赤血球を増やすホルモンを産生、骨の発達維持



腎不全とは・・・?

蛋白尿や血尿などの尿異常、腎形態異常、または腎機能が60%未満に低下した状態が3カ月以上続く場合を慢性腎不全(CKD)と言います。

早い段階で食事を見直したり、生活改善をしたりと適切な治療をすることによって、透析や移植が必要な時期を遅らせることができます。

しかし、腎機能が低下してくるとむくみや疲労感が出たり、さらに悪化すると尿毒症症状や食欲低下・息切れなどの症状が出てきます。

重症化し、慢性腎臓病は正常の15%以下の腎機能の低下が進行した場合、血液中の老廃物を十分に排泄できなくなります。末期腎不全の状態になると腎臓のろ過機能は損傷して再生しない為、人工透析が必要となり体にたまった老廃物を排出しないといけません。

血液透析について

末期腎不全の治療には血液透析、腹膜透析、腎移植の3つがあります。

日本では腎不全治療の主体は血液透析であり、2014年末で32万448人の方が血液透析を受けており、1年間に約3万6千364人の方が血液透析導入となっています。

※日本透析医学会「慢性透析患者数の推移」[導入患者の年齢と性別]より引用
血液透析は、血液を体外に取り出して透析器(ダイアライザ)に通して、血液中の老廃物や不要な水分などを取り除き浄化します。再び、きれいになった血液を体内に戻します。

また、多くの血液を持続的に取り出す必要がある為、シャントと呼ばれる専用の血管をつくる必要があります。治療は週3回病院にて行い、1回につき4時間程度かかります。



腎移植について

腎移植は末期腎不全で腎機能が低下した方に他の人の腎臓を移植して働くようにする治療です。

生活の質と生命維持の点で最も優れた治療法です。今のところ日本では1年間で1600件程度しか行われていません。

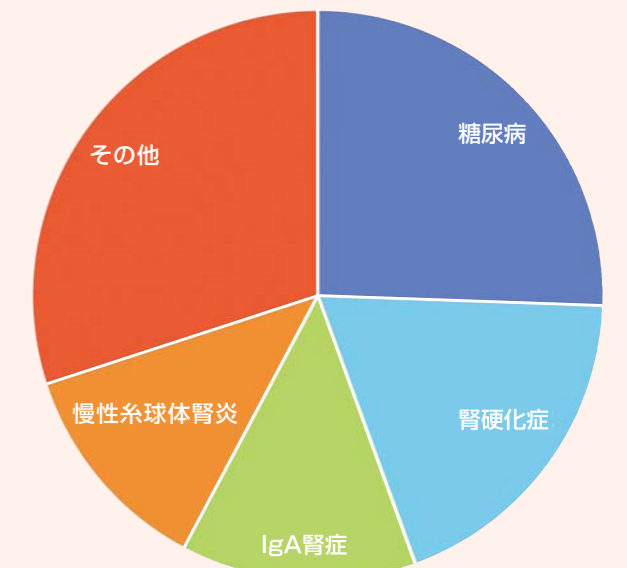
レシピエント(腎移植を受けた方)の原疾患は多くの種類がありますが、主として慢性糸球体腎炎、糖尿病、IgA腎症、腎硬化症が主です。

ドナー(腎提供する方)とレシピエントの関係は親子間と夫婦間、兄弟間など、両親・兄弟姉妹・子供など6親等以内の血族、配偶者と3親等以内の姻族と決まっています。

もともと免疫学的に他人であるため成績が劣っていた夫婦間移植の成績が、免疫抑制剤の進歩により他と比較して劣らなくなってきたため、最近は夫婦間移植が増加しています。

腎移植が成功すれば、血液透析から解放され腎機能も30~50%程度まで改善します。

当院のレシピエント原疾患



■ 糖尿病 ■ 慢性糸球体腎炎 ■ IgA腎症 ■ 腎硬化症 ■ その他

- 《その他内訳》
- ・原疾患
 - ・ADPKD
 - ・ANCA関連腎炎
 - ・SLE
 - ・拒絶反応
 - ・若年性ネフロンろう
 - ・腎底形成
 - ・妊婦高血圧症候群
 - ・髄質嚢胞腎
 - ・薬剤性腎障害
 - ・不明

血液透析・腹膜透析・腎移植の違い

	血液透析	腹膜透析	腎移植
メリット	実績のある治療法	血液透析に比べてやや自由度が高い	透析からの解放、腎機能が30~50%程になる
デメリット	バスキュラーアクセスの問題 血圧低下 等	カテーテルの感染 腹膜の透析膜としての寿命がある 等	拒絶反応の可能性、全身麻酔での大規模な手術(腎機能障害による透析再導入の可能性)
腎機能	治癒はしない	治癒はしない	30~50%程に改善
合併症	多い(長期間行っている場合)	多い	透析に比べ少ない
食事・飲水の制限	多い(蛋白質・水分・塩分・カリウムなどに気を付ける必要がある)	やや多い(水分・塩分・リンなどに気を付ける必要がある)	少ない
旅行の制限	あり(透析施設の手配準備)	あり(透析液などの準備)	自由
通院回数	週3回	月1~2回程度	移植後は定期的に通院

※板橋中央総合病院では、血液透析・腎移植の治療を行っています。